

昭和三十四年十一月二日招集  
第五回市議会臨時会々議錄





昭和三十四年館山市議令才五回臨時令之議録

一 昭和三十四年十一月二日午後二時館山市議令才五回臨時令之館山市役所分館會議室に招集

一 出席議員数 三十二名

一	番	荻生田七郎	二	番	黒川佐太郎
三	番	長谷川光江	四	番	初藤良太郎
五	番	田中忠藏	六	番	松本藤太郎
七	番	山本昇	九	番	志村信作
一	番	後藤四三	一	番	田中禄郎
一	番	田村喜兵衛	一	番	吉田辰雄
一	番	北山茂雄	一	番	江田徳太郎
一	番	吉田勇右郎	一	番	川名房吉
一	番	安西政治	一	番	嶋貫壮作
二	番	遠山ヨネ子	二	番	飯田義男



二二番 石橋利磯 二四番 佐野 信

二五番 脇田順一 二六番 鈴木市藏

二七番 鈴木孝 二九番 岩崎静敦

三一番 鈴木彦太郎 三二番 小林寅之助

三三番 山口幸三 三四番 三 沢 節

三五番 法木嗣郎 三六番 嶋 田 繁

一次席議員數四名

八 番 石井 潔 二三番 山口 康

二八番 安沢徳順 三〇番 石井 孝

一、法才二百二十一条による出席説明員

市 長 田村利男

助 役 小 出 武男

収入 役 完 戸 貴

總務課長 山口 実



建設課長 新開重助

厚生課長 渡辺茂

農産統計課長 吉田耕一

教育 長 工藤和平

庶務課長 鶴沢貫資

監査委員 関武天

一本議令の事務局長、書記および職員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

職員 山口晴之

昭和三十四年才五回館山市議令臨時會議事日程

昭和三十四年十一月二日午後二時開議

日程才一 報告才一文号 昭和三十四年度十月例月検査報告

日程才二 議案才六四号 都市計画街路事業に係る工事請負



契約の締結について

日程才三 議案才大五号 九重小学校々舎改築工事請負契約の締

結について

日程才四 議案才大六号 見物加賀名伊予用排水路事業用資材の

購入について

日程才五 議案才大七号 議決事項の変更について

日程才六 議案才大八号 起債について

一本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

議長(教生田七郎君)本日の出席議員数三八名、これより才五  
回市議会臨時会を開会いたします。

本日の臨時会に田村市長小出助段、完戸收入段、  
山口総務課長、新井建設課長、吉田農産統計課長、



工藤教育長、鶴沢庶務課長、関監査委員、以上の出席を求めましたので、報告いたします。

議案を配布いたさせます。

議案の配布もればありますせんか。

ないと認めます。

一番議員が出席いたしました。従って出席議員二十九名。

本会期の決定を行います。

本臨時会の会期につきましては、議会運営協議会の意見は本日一日ということであり、す。お諮りいたします。

会期を議会運営協議会の意見の通り決定いたします。ご異議ありませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)



○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって今期は本日一日と決定されました。

今議録署名議員の決定を行います。

お諮りいたします。

従来例にならしまして議長の名指により決定いたしますことにご異議ございませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって七番議員山本昇君 三番議員山本幸三君以上両君に決定いたしますことにご異議ありませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)が異議なしと認めます。

よって決定しました。



本日の議事はお手元に配布の日程表によりまして上程いたします。

日程才一報告才十六号上程いたします。

(書記朗読)

報告才十六号昭和三十四年度十月例月検査報告。

(関 武天 君 登壇)

。検査委員(関武天君)十月十三日実施しました例月検査の報告について説明申し上げます。

まず一般合計であります。市税におさまして六百六十九万六千八百九十五円の収入がございまして。

この内訳は市民税が約二百二十九万、固定資産税が百五十七万、タバコ消費税が百八十二万二千百九十月、電気ガス税が八十二万一千二百六十三



月等でございます。

税外支入におきまして二千二百四十六万九千三百六十九円入っておりますがこの内訳は地方交付税が千四百万五千円、これを交付税の累計は四千八百十四万三千円でございます。

競輪収入として八十五万円入っております。これは八月の競輪（千葉）でございます。競輪収入の累

計は六百六十五万円となっております。

その他使用料、手数料が約百三十万円、国庫支出金が四百六十五万円等が主なるものでござい

ました。  
市税におきまして収入未済額は七千五百六十一万余計とされておりますが、このうち納期のこないものも差引きますといわゆる正味の滞



納額は二千八百四十四万六千円でございます。

支出におきまして二千二百七十四万円でござい  
ります。消防費におきまして消防車シャーシー  
代として六十万円、国服代として九十万二千  
円余、エボ貴におきまして館山港の改良費  
担金百万円、船形港百万円、富崎港が  
二十五万円等計上されております。

なお保健衛生費におきましてと場費として  
ハンガレル取付工事代として七十二万八千五百  
円支出されております。

収入支出差引しまして七千四百八十一万三千  
六十九円でございまして、このうち五千万円  
を公営貨屋会計へ一時流用しております。  
なお九月末で三十四年度も半年を通したわ



けですが市税の収入状況等について若干申し上げたいと思ひます。

九月末におきます市税の収入累計はこゝにありますように六千四百十六万四千九百二十二円ですがこのうち現年度が六千二百二十九万八千七百九月で調定額納期の到来した分に対する収入割合は八十六、一％でございます。昨年

同期におきましては八十一、九％でございました。繰越分として百八十六万六千二百十三円

入っておりました調定額に対して九、二％でございます。昨年同期は八、八％でございました。

合計市税の収入額の徴収率は六十九、三％でございます。昨年は六十二、九％でありました。

なお収入総額一億八千九百九十一万七千六百七十



月が予算額に対して五〇、六％でございます。支出におきまして支出総額が一億一千五百百十萬四千六百一円ですがこれは予算額に対して三十一、八％でございます。市庁舎の建設費の代金がまだ支出されておりませんのでこのような結果になったと思ひます。

以上で一般会計を終りました次に特別会計に移ります。公益質屋の収入支出の内訳についてはこの表によつてご了承願ひたいと思ひます。

収入支出差引をしまして四十七萬九千七百八十円の収入不足となっております。一般会計より五十萬月流用しましてなお支払い未済額は二十五萬八千六百円でございます。市金庫現在高は二十七萬八千八百二十円でございます。



この支払い未済額は市債の返還を九月末に  
 したわけですが金券を切つて郵便局に払い込  
 んだわけですが郵便局の方で金券を月末中に  
 おとしませんのでこのような数字がでたわけ  
 です。翌十一月一日に支払がいつております。  
 なお貸付現在高は二百四十九万五千八百七十  
 五月です。船形築屋が百五十六万七千三百七  
 十円、富嶽賀屋が九十二万八千五百五円で  
 ございます。

国民健康保険会計について申し上げます。

保険料の収入未済額は二千六百二十四円余  
 計上されております。納期のこないものが約

千四百二十二円余でございますので差引ますし  
 て正味の滞納は千二百万円余でございます。



その他の収入におさまして三百八十三万三千三百五十二円入っておりますがこれは大部分国庫支出金でありまして事業費負担金として七十七万八千円、療養給付費負担金として三百一十一万一千円入っております。

課徴料につきまして半年間を前年度と比較してみますと三十四年度の<sup>前</sup>前年度分として八百十六万三千七百三十六円徴収しておりましてこれは納期の到来し<sup>た</sup>分の調定額に対して約五十九、三%でございます。前年同期は六十四、一%となっております。繰越分が十四万九千二百五十二円入っておりましてこれは調定額に対して三、三%でございます。前年同期は三、三%でございます。

収入合計八百三十一



万二千九百八十八月で納期の到来した調定額に  
対して四十、九%でございます。

以上の数字でございしますが九月末に才三期の保険  
料の納期が参りました。が三期分の保険料が實際  
に市金庫に入りましてのはほとんど十月になっ  
てからでございします。ので前年度の徴収率は五  
十九、三という低いものになつておりますが實際  
が十月半ばごろになりますと前年度は八十五  
%になつておるようでございます。

以上で報告についての説明を纏ります。

〇三三番(山口幸三君)ちよつとおろししますが市民税  
あるいは固定資産税の未着者に対してや、も  
すると強硬なる差押えとか競売という通知さ  
うけて非常におびえている市民が我々の耳にか



なり入るのですが實際病人があるのか特別な不幸がある、と納められない人もある、あるいは要領をきめておかない人もあるのですが一砵市としては競売とかそういう強硬なる手段が眼目であるか、地方自治体としてはやはりそこに民主的な含みをもつて徴収をするというのが主であるかその腹がまえというものをあき、しないと思ひます。できれば我々としては話し合つて納得でなるべく感情に走らないでこの収入未済が完全にくように希望したいと思ひます。

一 衣腹がまえをおき、します。

○市長(田村利男君) 競売はほとんどやめたことはございませぬ。差押えということもなるべくやらないよ



うに指令してありまして四回あるいは五回市役所へきていたいていろいろ相談すると、分納とかなんとかというところしているようございます。し、し市から一回手紙をやってもち、

ともでてこない、いうような人にはやもうえず差押えという通知を上げますとあわて、とんで参る次第であります。そうした場合にもす

ぐ差押えをするんでなくして大休分納にして

らどうですかというようになっていかに教えて上

げますとその通り指示に従って完納にしている

のありました一度に競売入札というような例は

た、一回ごく悪質なのを私記憶してあります

すがそれ以外はないうに記憶してあります。

。三三 養山は幸三君国民健康保険の問題である、



しますが近ごろ大都會々において、は国民健康保険制度はあまり実績が上がらないので廃止しようという空氣が全国大都市に行われつゝ、あります。が、館山市として今實際にいうと二千にながしの未済があるようであり、ますがこれはやはり生活の事情があるいは實際保険に加入してあつてもいざ病氣をする、医者にかゝる、いう場合においていろんなところに理想通りいかない矣があるではないかと我々も考えられるが、館山市としては今後やはりどこまでも国民健康保険をやりとおしていくのか、これらの加入の金をおえない人々と払う人々と實際との問題もあろう、どういふふうに調整していくか、現在あるか、その意見をおき、したいと思ひます。



○市長(田村利男君) 館山市といたしましては国民健康保険は廃止する意志はございません。

また現在におきまして医療方面につきまして医師と患者との摩擦というようなものはほとんどないと思っております。また滞納のや、大になつてゐるのは納期がこない面、また当然滞納繰越の古いやつと未整理のものが若干ありますために額が多いように残つていますがこれもあい／＼去年当りよりかなり額を減らしている次第であります。今後ますます国民健康保険を上手に運用していきないうところを考えております。

○議長(萩生田七郎君) 他に意見ございませんか。  
ご異議なければ次に移ります。



。議長(萩生田七郎君)日程才二議案才六四号。

(書記朗読)

議案才六四号 都市計画街路事業に係る工事請負契約の  
締結について。

。建設課長(新井重助君)議案才六四号についてご説明申  
し上げます。

昭和二十七年年度より継続して参りました都市計  
画事業も菟橋をはさみまして八百十セメータ九  
十を現在未完成となっておりますので本年度  
明年度に渡りまして本已間の完成をはかり  
たいと考えております。本年度はそのうち  
橋梁七十八メートルと前後の取りつけをしまし  
て六百八十セメータ九口を改修したいと考えてお  
ります。これにつきまして請負業者は株式



今社中野親、株式会社入滝工務店、白井建設株式  
 会社、館山工業株式会社、株式会社山崎工務店、  
 安藤建設株式会社、小沢建設株式会社の七社を指  
 名いたしました。十月二十八日午前十時より入札を  
 いたしました。入札の結果一千二百九十万円を  
 うちまして安藤建設が落札いたしましたので  
 この建設会社と請負を締結したいと考えま  
 して提案した次第でございます。

○三三番(山口幸三君)この入札を行う場合に議員側か  
 らいならば建設委員長か副委員長ぐらい主合  
 いのもとで入札を行うか、いなか、それをち  
 ょつとおまします。

○建設課長新井重助君主合っておりません。

○三三番山口幸三君ではつけくわえてお願いします。



茅というとおかしいがそれは私たちがやはり建設の副をやったことがあります。が長も副もその入札にはやはり建設委員の長と副が入っていていれどそこにゆかしうあのであります。が現在には参加していません。その臭いずれまた各委員と話しをして交渉としようが一応参考までおいておきます。

○九番(志村信作君)この工事は富士デューセルから荒川までのところですか(発音不明瞭につき聴取不能)建設課長(新井重助君)形形の一中バゴございますね。一中のところから川をぬけまして橋を七十八メートルかけましてそれから四十一メートル、池貝の中を来年度に移ります。一昨年度やりまして道路につながれるわけです。



本年度は橋はさつとおとしましたが下部構造  
すなわち橋脚と橋台だけ作りまして来年度  
は上に入るわけです。(わおりました「異議なし」と  
呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)他に「異議」ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(萩生田七郎君)「異議なし」と認めます。

よって議案オ六四号 採案通り決定しました。

議長(萩生田七郎君)次に日程オ三議案オ六五号。

(重田 記 朗 読)

議案オ六五号 九重小学校々舎改築工事請負契約の締結

について

庶務課長(鶴沢貫覚君)議案オ六五号についてご説明い



いたします。

十月二十三日、市内の建設業者十名を指名いたしました。そして現場説明二十七日入れいたしました。結果吉田工務店が最低の五百二十二万五千円で落札いたしましたので契約をいたしました。というものでございます。なお財源は国庫補助金百十二万三千六百円、起債二百万が決定いたしました。

一五番（江田徳太郎君）九重小学校の今ご説明を伺いましたのに五百二十一万五千円と決定されたように私は、ましたがこの見積りは当初予算の五百五十万とでておるようによろしく、それで見ますと約九五％というようなことを言っておりますがこれは今現在の災害復災の為に資材が値上がり、多分にあるようでありまして



なか／＼これを持ちまして業者の施行に当りましては骨が折れると思います。でありますが請負業者が十人も館山市に選定したのでありますからその業者はたしかにそれを感じてやっておりますと思います。それにつきましては資材の面で一、二、三等と資材がありますのでこういう便用書はどんなふうになっていきますか、それをいとお伺いしてみたいと思います。それにつきましては建築の工事資材の検査というようなものはどういふふうに行われていますか伺いたいと思います。それから施行に当りまして教育委員会でこれをやっていゝるように伺っています。がなお他の市では教育委員会が事務を計り施行に当りては建設課で施行してある、いうよう



にまいておりますので建設課で技術員がおる  
また教育委員会でも技術員がおると思いま  
す。この点でこんだの資材の検査でもやる場合  
には一等材で使用する事になっておりますの  
に三等材、二等材を使用した場合には一名につ  
き百三十円から百五十円の値違ひがありま  
す。その資材の検査をどうして行つてなんに  
よつて検査されますか。それともうひとつまた  
基礎のものにつきましたもどんなふうな基礎  
の検査また施行に當つてどんな検査をしてお  
られますか。

それから今もいうに中間検査とかそういうのが  
行われて何回資材の検査をやられますか。そ  
れをさ、たいと思います。一応それだけにし



ておきます。

○市長(田村利男君)教育長で工事を担当する問題と建設課でや、たうどうかという問題 べしかにご意見の通りでございます。しかし現在の形

では館山市におきましては教育委員会で学校の至営、校舎の建築すべてを教育委員会でやるということになっておりますので、従来の機構改革があ、た場合はいざ知らず大休教育委員会で責任をも、てや、てもらう、う、こ

○一五番江田徳太郎君)今ご説明を伺いましたら教育委員会であ、ておると、技術員が何名ございますか、お伺いします。

○庶務課長(鶴沢貫賞君)教育委員会に一級建築士が一



名嘱託としております。これが検査に立合、て  
施行しているわけです。

○一五番(江田徳太郎君)今おき、しますと委員会には技  
師一名一級建築士一名と二人あるそうですが、す  
れの学校又この学校にしまして、市委員会には  
ほかに仕事も大部のかえておられますように見  
うけられますので、そういう資材検査は一人でやっ  
ぱりいっていられますか。

○庶務課長(鵜沢貫資君)現在資材検査の場合には一級  
建築士の下に補助員が一名、それから二級建築士  
の臨時の嘱託の大工がおり三名でやっております。  
○一五番(江田徳太郎君)それで今了承しました。

これにつきまして、は權威ある一級建築士また二級  
建築士と他にまた補助員があるとお伺いしますし



たがたま／＼建築資材面で良く感じているので  
 一業者各一等材を使用してでなければ資材の購  
 入も材木屋べしなにと、ある業者は三等材でも  
 二等材でもいい、かう出来ればいい、んだと、いう  
 ふうにしてやりますとこゝに学校のもち具合  
 によりますと一等材と三等材を使い、その場合には相  
 当、年度で十五年もつものも十年しかもたない  
 い。仮に板のような場合やはり（発音不明瞭に  
 つき聴取不能）初当いたるものでありまして資  
 材の検査は特に嚴重にしてやゝていなければい  
 と思ひます。年度で十年もつ五年もつとい  
 うことは大分良く学校ではすぐ補修をされて  
 いるように書いております。それはほとんど  
 の業者でなく善意をもつてやられる業者も



ありますすがなかにはそういう業者もあると思  
いますのでこれにつきまして私は今回の市庁  
舎の市庁舎建設委員というような意味の……  
発音不明瞭につき聴取不能)……学校の方面  
につきましてはそういう面がないので書いてお  
りますすがや、てお、たかどうか。

。庶務課長(鵜沢貫賢君)教育委員会におきましては建  
設委員というようなものは従来ございません。

。一五番(江田徳太郎君)教育委員会のおひはそういう  
事はや、てお、んとい、ますがとにかく中間検査  
とかいう検査の場合にその人だけでもスてみんな  
一(雑音多く聴取不能)……たま、や、てしま、て  
かうこれがいけな、たとかこれでやろうという  
ような面がないようにしたいと思ひます。



その所前には監督官が嚴重なる検査をしておる  
ならばそういうことがないと思ひます。それにつ  
きましては各（雑音多く聴取不能）……九重の  
学校で五百五十万というような、五百二十万  
という（発音不明瞭につき聴取不能）……この建  
築について地元の議員、ある一部の議員を含め  
まして市庁舎の建築委員というような形でで  
まれば九重の学校建設委員を作る意志があり  
ませんでしょうか、これをひとつ伺ひます。

市長（田村利男君）私の古い記憶ですが館山カーク学  
校および館山カーク中学校の時も私達は議  
会ではございましてが当時議会側から建築委員  
会というような名称だ、なと思ひますが鈴木  
森蔵市長に委託されてそういうような委員



今があらうやうに記憶しております。そうい  
う時に委員が毎日あるいは二日に一ぺん現場で監  
督しなければいけないというやうな当然市理事  
者が責任を負うべきものを議今人を使って何事  
かという意見がかなり多くてけ、まよく委員会  
はむきなもの、議今人を使って監督をやらせる  
理事者の緩慢を責められたやうな記憶がありま  
す。　　そういうやうなことからしまして建築に当  
りましては市役所の庁舎の建築は別として  
小学校の建築は教育長に責任をもつてまかして  
もらいたいとこう考えております。

○三三番山口幸三君この工事請負の問題でありますか  
これは建設委員会だまゝく、こういう問題がで  
まして同じ市の中で教育委員会は教育委員会



ぐやはり一級建築士その他技師をやとつておる、  
 また主派な建設課は建設課としてそれぐの技  
 師を雇つておる、それが双方とも別々な請負工  
 事をするということは何らかそくに不合理がある  
 ではないか、教育委員会は教育に関するぜん  
 り全力をされておる、建築に関するものだけ  
 は建設課がやるのが至当ではないかという意見  
 が多数ある、たと思われす、今後これはいつ  
 な、たか知らんが最初は教育委員会がでる時  
 は建築の事はたしか建設課でやつてお、たと思  
 います、いつの間にかこうな、たか私知りません  
 が今後市民としてもこの問題を一元化するが否か  
 ということを研究してもらいたいと私はお願い  
 いたします。



三四番(三沢 節君)この配置図をみますと旧校舎  
でばつの書いてあるのがとりどころになるや  
つだと考えますがもう一つ残っている旧校舎  
の方はいつ頃とり払いになるのかまたとり払い  
場合に新しく建てる場所の教室に特別教室  
が一つもないのであります。こういう場合の処  
置は今後どうするのか、それと新校舎が独立し  
て二つの旧校舎に何の通路もない、渡り廊下も  
ない。この渡り廊下のないということはどうで  
しょうと四年も五年も子供達が非常に不便を  
する。ですからこの際に渡りまで一しよにやっ  
てしまうのが女当だと思ひますがこの点お尋ねし  
ます。

庶務課長(鞆 沢貫覚君)とりこわす校舎はこゝにばつし



てありますように五教室で百三十七坪でございます。  
 いまず。残りまして旧校舎でございますが現在  
 では生徒数が多いため新しい校舎では特別教  
 室はとれないわけですが、<sup>増</sup>来生徒数が減って参  
 りますと新しい校舎で入る年度がくるわけです。  
 その時に旧校舎をとりこわしたいと考えてお  
 ります。なお渡り廊下はこの予算の中には入  
 ておりません。賄込が許せば本年度、もし許  
 さなければ来年度やりなにと考えております。  
 (了解と呼ぶ者あり)

二番(田中禄郎君) 三沢議員さんから質問がございま  
 した。が教室を建ててる場合、渡り廊下まで入れて請  
 負わせることはできないんでございましょうか。又  
 それともこれは国庫補助の関係とか起債関係で



も、でございものでございましょうか。それ  
をいとお答え願いたいと思います。

。庶務課長（鵜沢貫覚君）委員会といえましてはこの  
渡り廊下を入れたか、たのでございしますが設計  
をやってみますと渡り廊下の予定価格、渡り  
廊下を入れるまでの予算でなか、たもんです  
から入れられませんでしたが五百五十万の初め  
の計画では入、ておりません。

。二番（田中禄郎君）実は四中の問題ですが四中も  
建、てから四年自分で渡り廊下をつけたようにな  
しまつてあります。おそらく九重の校舎も今  
後渡り廊下をつけらんじやないかと思ひます。  
今後建築に当りましては渡り廊下をつけて  
子供に便利を与えるというようにして



いたゞくことを希望いたしますしてこの案を賛成  
いたします。

○二番(飯田義男君)先ほど山本議員から質問があ  
りました矣でちよつと市長さんにお答え願ひ  
たいんですが先般の建設委員会でごつちやはご  
つちやにすべきだと、いわゆる建設委員会と建  
設事務についてはや、ぱり建設課でやるべきだ  
という意見がでたのです。市長さんは建設する  
とか登記所に登記するとかは問題はないんです  
が研究する意志があるかないかどうかちよつと  
お伺いします。

○市長(田村利男君)現在大いに研究しております。でさ  
れば建築業務一元化したいと希望をもつており  
ます。しかしなわばりもありますので……笑聲。



〇一五番（江田徳太郎君）いろいろお聞きしました結果飯田職  
員からもお話しのあつた通り専任委員は専任委  
員でと、専任委員ではありませんがたゞ建設課と  
して建設委員にした方がある程度業者としては  
やりいゝじゃないかというように話し合いました  
結果 いろいろ打合せたのであります。教育委  
員会はほかの用があつてとても建設などや、てい  
けない。人員は少ないし日々は少ないので建設  
委員会の方でや、てくれと、また当然として前  
には建設委員も教育委員会ではやれないというこ  
ととあつたように聞いております。とてかくまを  
みて建設委員会でもや、てもよろしいというよう  
になつたから建設委員会であつておる、いうよう  
にき、ましたので今横内したのであります。



でありますから今後のとつ市役さんもご研究下さいまして、それともでき得るならばこの実を市の方へと移さして施行に當つていさぐさたいと思ひます。なお先程申しあげました施行検査につきましましては市今議員として十分我々の申しあげました一等杖、二等杖、三等杖の件、教育委員会で責任をもつとおっしゃいましたから一応この点につきましては議員として業者に伺う考えであります。こんごよろしく。

○二番(田村喜兵衛君)今渡り廊下の問題がでておりましてが、この初めの予算の五百五十万と建設課で九五%とか五百二十何万とか言ひました。が予算一ぱい使つて渡り廊下もこまえるのはあたりまえだと私は思ひます。



○市長(田村利男君) 予算は、予算で市のまた予算の  
剰余金の問題も計画に入れてありますので、ど  
うも……。

○二六番(鈴木市藏君) マッ今十五番議員のいう学校問題  
の研究についての質問でございまして、その問に  
当りまして、学校が着工のうでま上がるまで何回の  
検査をするか、公庫当りの資金を借りると相当  
検査があるそうです。基礎を打ってからの程度  
でもって検査を行うか、この答弁執行部がぬけて  
おると解釈しておるんです。この点は、まうと  
ご答弁を願いたい。

○市長(田村利男君) 改ま、てはいえませんが、  
います。三日にあげず、まう技師が主合、ている  
現状でございいます。



ニ六番(鈴木市蔵君)当然、そのことに當つた一級建築

師三日やれず検査をすべきだと私の解釈ですがこの場合でまゝ上へりによつていつい、曰くでは完全なる検査をすむというような基本的な検査をいふとつ今後とも<sup>今後</sup>とも行つていってみたい。

中途半端でぶらつといつてぶらつと歸つてくるというようない、わけがましい制度はやめてもらつてごうとした検査をしてもういたい、なぜそうしてもらいたいというところ、館山高校の問題でござい、あつた、これもぶらんといつて三月たつたうい、て歸つてくる、それではなんにもやりはしない、いうふうに私は自分自身で解釈してゐるんでどうぞ差支とびる上へるまで五回ひう五回とまた教育委員会の方と一緒に何



人がいて、てきやうと検査していたことがある。そうすれば、館山の校舎の問題はないと信ずる者であります。その件にお願いいたします。

議長（萩生田七郎君）他に異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（萩生田七郎君）異議ないと認めます。

よって議案才五号を案通り決定されました。

議長（萩生田七郎君）日程才四議案才六六号。

（書記朗読）

議案才六六号 見物、朝賀名、伊予用排水路、事業用資材の購入について。

農産統計課長代理（山本林藏君）議案才六六号について



の説明申し上げます。

見物加賀名、伊戸、用排水路小田、南発整備事業  
として農林省の承認をうけましてその事業用資  
材としてましてし宇満中二十四センチ深さ二十四セン  
チ、長さ六十センチ、深さ十八センチ、巾十八セン  
チ長さ六十センチの二種類にござりまして各事業  
所ごとく三滝常吉、大野商店、千葉商事株式  
会社の三社から見積りの結果制限価格におさま  
りて適正と認めまして見物事業のし宇満を  
三滝常吉に、加賀名のし宇満を大野商店と  
それごとく講入の契約をしていと思うのであり  
ます。

○三三番(山口幸三君) 実際わけは地域がわかる  
ようであらうが、これはいわば農道に沿う



うてやるのか。あるいは農漁村の振興の方面  
で手をつけたのか。産業方面で手をつけたのか  
いづれが手をつけたのかちよつと内容の説明を説明  
願いたいと思います。

。農畜統計課長代理(山本林蔵君)それは小田地南整正  
備事業によりまして農林省の指定に基いて農  
道と違ひまして特別に用排水路を作らなければ  
ばと水田五町歩以上に対して(水田五町歩に対  
して、それほどの位の水路も、それは結構なところだ  
と)と呼ぶ者あり(水掘りです(せうは)と呼ぶ水かい  
う、ちやる水かいと呼ぶ者あり)う、ちやるのとと  
ろのと両方でございます。

。議長(萩生田七郎君)他へご意見ございませんか。  
。八番(安西政治君)今回は隨意契約ですがこの隨意



契約に對しまして見積り合せというようなご説明  
でして、送いました値段も全部同じかと思う  
んですが、更にもう一歩ふみまみまして、うした  
業者が各地已に地盤を持っていて、思います  
送いまして地盤を持っていて業者が、お任せを  
願いましたら、やうせれば今後いわれるアーフ  
タサービスがど、かわずかなものの、かわれた時  
に非常に便利じゃないかと思ふんです。さうい  
ふ事を、ご考慮願って、隨意契約というような  
ものが、なされました。ちよつと。

農産統計課長代理（山本林蔵）市内にリウ満を扱って  
いる店が、この外に川島屋ですが、三虎常吉の  
商品でございまして、この三ヶ所でも、て見積  
りました。



八番(安西政治君) こういう、の場合例えば西岬地区に  
あ我々が特定なものをお願いするわけではござい  
ません。今後施行し終つてから時々こわれる、あ  
るいはリ宇満べわれるようなことが起きることば  
想像されるのでございます。西岬地区は西岬  
地区に出入りのよい店からなうば今後非常に  
アノフターサービスの桌で例えば宇満の一本や  
二本はサービスしてくれ、こういうようなこと  
も考えられますのでそういう事までご考慮  
願つたかどうかということをお伺いするわけでご  
ざいます。しかしもし。

。農産統計課長(山本林蔵君)は、ましてそこまで考えな  
どうかかわりません。こんごうい、たことをつ  
解、異議なしと呼ぶ者あり)



議長(萩生田七郎君)議案オ大六号 采案通り決定いたし  
ますことにて黒議ございせんか。

(「黒議なしと呼ぶ者あり」)

議長(萩生田七郎君)黒議ないと認めます。

よって采案通り決定されました。

現在、出席議員数三名しばらく休憩いたします。

三時十分 休憩

三時三十分 再会

議長(萩生田七郎君)休憩前に引続き開議を申します。

日程オ五議案オ六七号上程いたします。

(書朗読)

議案オ六七号 議決事項の変更について



。厚生課長（渡辺 茂）君議案オ六七号についてご説明申し  
上げます。

本年六月の市議会におきまして本案にご賛成を  
いたしまして議案オ四十一号の<sup>勤</sup>労者福祉施設  
としての宿泊施設建設についてのうち建物の構造  
規模が木造瓦葺<sup>二</sup>階<sup>一</sup>棟二百坪以内でしるがこの  
坪数を三百坪以内に改めまして建設費を九百万円  
以内を千六百万円以内に改めようというものでござ  
います。この改める理由につきましては市長さ  
んのほうで説明があるはずでございす。

。市長（田村利男君）六月の議会におきまして九百万円の  
国民宿舎の建設につきまして賛同を得たわ  
けですが土地家屋敷費が最少限度のものさ鳩山  
氏邸の後に建てたいというわけであり厚子



生省へ申請したわけですが、その後厚生省と折衝  
 いたしまして宿舎を全営する面におきまして四十  
 人位の人員費が五人と文人とあるし電気あるい  
 は釜の設備お湯の設備も四十人のも八十人のも  
 大体建設費はいや設備は同じであるけれど、設  
 の方をもっとふやさないとには夏、もっとは  
 りいえば夏最盛期にあいてうんと収容する場を  
 作らなければ採算がとれない、館山市が赤字  
 を永年に負うことになるからもっと大量に収容して  
 冬秋の霜がれの食いつなぎのためにも最盛期をうん  
 とかせいどおがい、だろうとさういうふうな示唆も  
 あり指導もありましたので千五百万月という数字が  
 ばまいて幸い厚生省の方で千五百万月を無理し  
 て館山市へ出していただくことになりましたので今



回皆さんのご協賛を願って国民宿舎も今回  
三百三十坪の八十人収容というような線で夏  
場小学校の生徒は百人以上収容するわけでござ  
います。そういうことにしたいと思っています  
のでご協賛願いたいと思います。

○三三番(山口幸三君)変更については認めますが、内  
題勤労者福祉施設としての宿泊の建設につい  
てという大ざっぱすぎる、ちよっと内容がわか  
らないので具体的といえますが内容といえます  
三三のとお話してもらえばけっこうです。

○市長(田村利男君)青写真もちよっともって参ります  
せんでしたが大体設計では八畳の間が十七、そ  
ろえ大食堂あるいは大ホール、もちろんおふろ  
場とか便所そういうサービスするところを入れ



まして三百三十坪 そういうことで大体一人当り三六坪の計算でそういうふうな。

七番(山本 昇君) 今市長さんの説明によりまして変更のことについてましては変更のことについてましては誠にございまして

私も異存はございません。 ね、この前六月

八日に上程されました時に相当こうして施設をこしらえてそれが維持運営とい、ましていうか

至管とい、ましていうかそういうものを一歩誤

りますとかって北条町時代にありました、渚の家

のどとくいつまで赤字を市民に負わせることも

なまにしもあらず、いう観望につまして具体

的にどういう方法で維持していくのか、そういう

な管理の方法をや、ていく、いうことを実は



お尋ねしたんでありますけれどもその節には  
具體的な線がでておうなかつた。そこで一応  
当局にいろんな關係があつたので私が目下につ  
いてお尋ねしたんでありますけれどもうすでに同  
日もスつておりますのでこれにつまましてそ  
うしたことがないようになしていらつたといふと  
いうのが私どもの心かうの願いでございます。  
少くともこうした金を借りる以上もちろん  
起債等一千五百万の金を借りれば当然二十  
五ヶ年という数字のかえすこととで利子も六分  
五厘と書いております。と、いふやうなとりあえず年同約  
百万の利子だけども私、ていかなくちやいけ  
ない状況でありますのでこれにつままして市長  
さんとしても十分考えて維持運営には研究を



れたと思ひますのでその具體的なことがござい  
 ましたらなうばいとおしえていただきたいと思います。  
 更にこの基本的な考え方を市長さんから説明して  
 いただきたいと思います。更に私も考えますに、あすこの  
 土地へこうした施設を講じることにつぎまして  
 はもとより賛成でございます。賛成でございま  
 するが、あすこだけ独立の経営というものを中心に  
 考える場合は、まして採算がとれるかどうかとい  
 う問題が非常に考えられるのであります。地理  
 的主な条件といふ、またようか、け、して恵まれて  
 いないこと、かういたしました、あすこだけ一つの  
 運営維持につぎましてはやはり周囲の観光施  
 設があるとか、そういう、たものも関連してこの運  
 営あるいはP、R、の面におきまして十分なる考



え方も当然必要だと思ひますがどう考えておられるかこれがひとつ、

更にこうした施設を請ひますととりあえず当初はにぎわすのであります。利用される、それが

だん／＼利用されなくなってしまうことなどは  
とても多い例でございしまするがそういうことは  
絶対ないとは信じますが施設をあるいうところえ  
作りますとそういっては大失礼ではありますけれど  
も町の中心とははなれて管理の面が十分してい  
かなくちゃいけないと思ひますがどのようにお考  
えになつてゐるかこの点につまましてひとつ當  
司のお考えを教えていただきたい。

○市長（田村利男君）もヒより勤労者あいての経営の  
宿舎でありますので始めから大もうけすること



は期待されませんし又場合によっては赤字があるいはであるかも知れないことを予想されるわけではございます。しかし市といえましては極

力を営法に力もちいまして人件費の節約又

P.R. 対外宣伝誘致を強力に發揮しましてすく

なくとも最小限度の赤字でくいとめたいという

考えでやっておりますしていろいろ計画しなと

ころによりますと最盛期夏の百人百五十人以外

上の小学生も收容するのを含めて全部合計冬

場のせいぐ一人か二人位しか宿まうない時もある

ことを勘案しまして一日平均九人とみて年

間百九十九万九千月の収入でございまして支

出が百五十九万七千月差引三四十万二千月という

ことでは赤字になっております。しかしこの黒



字といえども商業して當ってみなければわ  
りませんでこの四十万のプラスあるいは最小  
限度の赤字ということも將來やってみなけれ  
ばわかりませんが、しかし、館山市がいろ／＼な  
面において一番とり上げなければいけないのは  
観光でいえることですがやはり重要産業と私はい  
いたいのでございまして観光面を宣伝する一つの  
材料と致つていゝ。少し位の赤字やトニ／＼位で  
は……（テープ取換の為聴取出来ず）　そういふ  
ものを設置するお氣持に対してなれ切り神社の  
わきの三角三十坪の建物と建て当分の間市直管  
でやってみないと考ふるわけではございす。又  
長い間多岐になりますとあるいは委託を管がい  
ゝとか協同を管がいゝとかいゝ／＼　今後起っ



てくろと思ひます。それは先に譲ることにしてしま  
してさうきりは市の直営で一日平均九人夏夏  
とひゝくるめて九人と計算してわけをござい  
ます。

。助役（小出武男君）先程七番議員からのご質問のうち  
単独施設としての旅館経営はなりまじないじゃ  
ないかと。こういう意見でございまして、これは  
私ども本質的には同感でございします。

いずれの市のこの種の施設をみましてもやはりホ  
テルに因連した観光なりレクレエーションというの  
がともないましてはじめて宿泊所の効用がと  
いうこととを根本的に考へてゐるわけでは  
な。お今回の場合は現在の地につきましては非常  
に僻地の地で交通とい、その他の観光因連性



につまして非常に他府県などと比較すると若干おちろまういはいございますが市長の方針としまして観光にいろいろ館山市の観光ポストとしてあの海岸一体へ更に西岬方面までの観光を予約してある現在から考えましてそこへひとつ観光のセンターとしてかつまたひきぬくとしての施設を設けることによりまして将来あの地の施設を吸収して振とえば外房との圏連をつけて外房の見学をさせるとかいうのは海沿いの圏係、それはその土地に獲得な大きな圏連した施設でございます。なおそのほかのミーズニオブとどうするかということになりましてやはり砂山へ向ってリクレーエヨンコースをこしうえろとかあるいは西岬燈台のリクレーエヨニコ



一 スとこしらえるとかいろいろな関連性を将来視  
 光をいのかす意味において考えました時々の施  
 設というものが必ずしも必配したもののじゃないと  
 いうような気分も持つわけで将来どうして意味  
 においての時も十分考えまして P. R. もいましてす  
 しなお観光施策の充実も考えていましていかよ  
 うに考える次第でございします。なおこうして施  
 設にござましては地元の熱意と指示協力が必要  
 ればいずれのどの施設におきまして成功しな  
 いのびございします。幸いにして地元の見物地已  
 でも非常に希望いたしておりました。部落、坂  
 田の代表者の名前をもちましてぜひいといつこ  
 の地已へ建て、もらいたいとこれについで誠心  
 誠意協力をする、場合によっては敷地<sup>地元</sup>の地をう



し位は并償するといふような意味を加え、熱烈な  
要望さえしておるのでございまして更に皆様方の  
今後のご協力を得ますなうば必ずしも本趣旨が徒  
勞に期さない、こういうふうに考えてある次でござ  
いますので……。

○七番(山本昇君)「今市長さんのお話して助役さん  
のお話りで良く趣旨がわかりました。

市長さんの決意が多少赤字がありますが、永い  
一(雑音多く聴取不能)完成してゆきたい、いう強  
い信念でぜひやりたい、かような強い信念のよ  
うに信じておりますが誠に結構でございます。  
そういう施設ができることは私どもとしても  
心から賛成するものであります。先程伺いまし  
たように運営を誤りますととんでもないことに



ありますのでこの点を十分検討下さいまし  
てまた助談さんからもお話しがあつてつりだと  
かあるいはその外は振込施設と合せて慰安の  
面につまましてやるというお話しで誠に結構で  
あります。

と同時にこうしてことはなんとし  
ても地元の方の協力がなくてはならぬのであり  
ます。バレー今のお話しでは勤労奉仕などしても  
い、という熱意にもえたい要望もでておるとい  
うことで誠に結構であります。結構ではあ  
ります。がこれらえる時は熱意にもえているとい  
うけれどもその後の維持というのが非常に  
あつかひいのであります。当初とりあえず

市の直管でやっているとしかるべき時期におい  
てあるいは委託を管なり協同を管なり適当



なる処置をとっていきないうちわめて自動性のある<sup>お</sup>考えでありまして誠に結構であります。要するに私どもの考えは物を作ることはけこうはんだけれどもこれによつていつまでも――市民に赤字をしまわされる事体の起まない、いうのに一辺の心配について申し上げるのてしてそうしなことのないようになしていきないうち、またすることによつて運営して……どうぞ今後運営の面はもちろん市民さんのお考えもけこうですけれども運営につきまして充分関係総裁のそれ――宿舎の意見を十分聴いて誤りのないようにな運営していきないうち切にお願いして私この案に賛成するつもりです。

元番(志村信作君)　はい、今のお話しいろいろ伺いまし



たが位置につきました。近ごろ都会人種は洲の傍  
をり、非常に行楽の地としてあり、かも内房  
ばかりでなく外房も近く燈台という施設もあ  
りますので位置としては申し分ないと思いま  
す。で賛成いたします。いいたしますが、名  
が勤労者の施設というんですが、勤労者の範囲  
これは一般国民を対象的ものでしょうか。この  
場合の勤労者の意味をご説明願うと同時に  
先程市長さんのお話で一日平均九人、年間  
百四十九万九千円、利益が四十一万二千と、一般  
いくらでや、てもらえすか、逆計算をしてみれば  
わかることですが、一泊いくらでございますか、  
細い、莫きご説明願いたいと思います。

○厚生課長(渡辺 茂君) 答えいたします。



宿泊料金は五百円でございます。その内訳は宿泊料が二百十円、朝食九十円、夜食二百円、以上でございます。

○市長(田村利男君) 勤労者宿舎の名前でござる向のようですが、実際向題としましてこの金の出場所は厚生年金と各勤労者が積立てた金何十億とあるわけでございます。その厚生年金の積立てた金の還元融資というのが、大筋の向題でございまして、そこに申し込む手続まからい、ましては館山市に事業所をもつ会社が千人以上それを利用することと条件とする条文がありましたので、市では富士デパートの大体六百千人業銀行本店をまけてまず四、五百人とおさえまして、その他



市内の各法人全社の名前を二十五お借りしまして  
千三、三百人の名前をとりて社長印をおしま  
して頼、次才でございます。 送いまして

市内の二十五の全社の社員 池貝の社員 千葉  
銀行の社員 日東の社員 こういうようば人達が  
専向に使う権利があるわけでございますがおそ  
うく 館山市内の勤労者が毎日 鳩山邸あ  
えいくことではないと思ひます。 あるいは時

たま五人か天人作ってリクレーションをする場合  
もあるのも知れませんが大体は自分でリクレーシ  
ョンをするところだろうと思ひますのでその他は  
あがて外来客をとめてやると両面作戦でいま  
まいと考へてゐる次才でございます。

○九番(志村信作君)まい今の説明で了解いたしま



したが一般旅館業者とのふり合いが良くで  
まていますかどうですか、この点ご質問いたし  
ます。

○市長(田村利男君) 木村屋旅館組合長さんからの言に  
よりますととにかく旅館が一軒でも二軒でもよ  
けいあつた方が館山へお客があるんだからどう  
ぞお作り下さいと、しかも西岬の辺ぴなところ  
だったところのお客には影望月ありません  
としかも五百円で満まるようなお客は館山市  
内の独立の旅館では影望月はない、という意  
見でございましてあるいは払いていえば西岬  
のとなりにある藤屋旅館さんばうけるかも知  
れませんが地元に納得説明していただいてその  
方はなんとかならないつもりでありますけれど



いていえは藤屋旅館一軒が打撃をこうある、  
しかり藤屋旅館には藤屋旅館のつと永年  
ついたらお客がありますしめんどいという笑から  
いってそう影響はない確信している次で  
ございます。

二四番（北山茂雄君）まゝ九月の今議におきまして約  
二時間という長時間を要した協議会におきまして  
過去何年間すぎた何年間は企業誘致し  
夢のうちですぎましてその結果結論といえし  
ましては館山の将来伸びゆく道は観光以外  
はないとまで認められたように記憶しておりま  
す。

今回六月市会におきまして国民ハラスの建設と  
決議されました今日に至りますと約倍額起債



の決定をみましましたことは地元の私どもといえし  
ましては青天のへまれきという感じてござい  
ます。この千載一遇の好機会におまましてぜ  
ひとも将来の西岬地区はもちろん本市の観光  
発展上この鳩山邸の国民ハウスが基盤となり  
まして館山市の観光発展に必ずや寄与するこ  
とが火をみるより明らかなるように感じられる  
のでございます。なにとぞ市長さんはじめま  
た課長さんにも一段の努力を下さいまして早期  
実現方を地元として要望する次第でございま  
す。

○一五番は田徳太郎君 国民ハウスの建設につままして  
皆様への将来の行われる要旨につままして  
いろいろ説明はいたしておましましたんですが



建物につきまして坪数をみますと坪当り四万  
八千円と、建築物は相当学校をりより優秀  
であるようにみうけられます。その決定はさき  
申しあげました入札はどこえ参りますかその決  
定方法というような、どうして参りますか我  
々（発音不明瞭につき聴取不能）。

。市長（田村利男君）まだ決定してありますせんが早急に決  
定したいと思うわけでございます。しかし館山  
市の建物としては市庁舎建設について二中当  
りの講堂よりもはるかに大きな建築でござい  
ますので十分審議しまして設計におきま  
しても監督面におきましてもよくやってい  
きたいと、まだ青写真、十七部屋というや  
つは決定したものではなくして千五百万円の中



についてうにせ金でなくしてにせ写真真とい  
うような仮定のものでしてまゝりますと改めて  
本設計を適當な人になつたか方内の池田一級  
建築士にやらせるかその辺をよく相談いたし  
ましてまた建築の請負いの問題になります  
とまた大きな問題がありますので十分手落ちの  
ないようになりたい、もちろん学校の建築はへ  
たすれば二万八千円三万円ぐらいでやるところ  
を四万円の美しい建物ができるわけでござ  
います。しかしそれは木造と書いてあります  
が防火建築としてありますのであるいは七分  
通りブロック建てになるかも知れません、そ  
の辺も勘案いたしますと四万円ででないか  
も知れませんが四万円わく以内にはまるよ



うこれから設計者と相談してや、ていゝたい  
と考へております。

議長(荻生田七郎君)地のご意見ございませんか。

十五番(江田徳太郎君)市長さんからおき、しまして  
たいへんけ、こうに伺、ております。地元議

員諸氏も大部熱意を持、ておられますし一  
応地元の議員諸氏また地元の要望をおき、  
下さいます。今後建築物には相当あとかうも  
つけ加えて大きくするといふようにや、ていた  
いさたいと思ひまして、一言それをも、て私は  
了承いたします。

二八番(安西政治君)地元の議員といふお言葉が  
でましたので一言申し上げさせていたします。  
地元なるかゆえに全面的に賛成するのでは



なくて館山市が現在観光にふみ切っている  
現在こういうものがでることばまず大事  
である。オーストリアの非常に大きな布石  
である。信じまして国民ハウスのでるこ  
とを賛成するものでございます。

しかし市長さんでござい、たものひとつに  
よって館山市が観光にのびるということはあ  
りえないのが当然のこととで現在いろいろと二、  
三のものがござい、てあります。八幡海岸の  
ホテルだとか城山の問題とか更には大砂平  
のゴルフ場とか洲崎の崎一帯砂山というた  
ものが観光の対象として大きくクローズアッ  
プされているようでございます。これら国民  
ハウスを一布石としましてますます観光の



布石の充実に尽していただくよう努刀して、と  
 同時に先程来地元の様子などいろいろとご質問  
 がありましてが、現在市長さんの手元ならぬに議  
 員団に陳情書がでているようでいろいろ地  
 元のつづうによりましてや、本議今にまに合  
 わなか、たことを遺憾に思、ておりますが  
 地元三議員は紹介議員として捺印し皆様方に  
 お願いすることにな、ておりますのでご参考  
 までに一、二質問しましたものを、ご了承する意  
 味あいにおきまして申し上げさせていた、と  
 うございます。

まず鳩山邸あとな、切り神社というかなり  
 大きな広い境台をもつ神社に隣接してあり  
 ことには大きなお林がありまして、私達がお供の



時、この近所にある学校、この臨海学校として  
使った本林でございます。これがいんご大ま

く利用されるというよりも利用していった  
いて、この中でございます。また、真夏の状

態をみますと非常に収容しきれなくて困  
っているのが西岬地元の状態でございます。

それで神社の境台にかなりの社務所がございます

これをいつもね、しておくのは非常にもったい  
なく思っております。地元にありますてはこ

れも早い機会に外、この要望があつた、この解放  
しようという企は、おこつて、いるのでございます

が、この社務所でございますので、宿泊施設と  
してのま、ない等設備がないため、このい  
になつておりましたが、隣接した鳩山邸あとへ



国民宿舎改称ができておるとしましたら、ば、そうい  
ったものも、もと、夏の時期にありました、利用し  
ていた、いて、け、こうだと思、ってあります。また  
とか、く、こう、いう、建物、城山の便所とか、北条海岸  
のレストハウスなど、み、まして、も、館山地乙の中心  
付近になります、とい、て、ずう、され、たり、なんか、す  
る、よう、で、ござ、います。この面を、地元で、総合、な  
ど、やり、まして、とも、く、助け、合、おう、じゃ、ない、かと  
申し、合、せ、も、で、きて、あります。また、道路の整備  
など、につ、け、まして、も、土地の提供、という、ことは、市  
に、大、いに、協力、しよう、じゃ、ない、か、こ、力、い、った、こ  
と、も、で、きて、いる、ので、ござ、います。更、には、助、後  
さん、が、説明、しま、した、が、協、力、的、な、提供、も、ある、程  
度、は、喜、こん、で、いた、しま、す、と、い、う、こ、と、地、乙、の



観光業者に一市民一地主の人としても観光的な  
サービス精神はいつももち合えなければいけな  
い。いわゆる最近来課長さんにサービス精神を  
いろ／＼訓練したということもたまには新聞  
で見ましたが一／＼の人達がこういう気持ちで  
観光客あるいは宿泊客を迎えようじゃないか  
そういう意志も話し合っていてあります。

九番議員さんの申されました旅館業者の問題  
も地元には富士屋さんという旅館業者が陳  
情書をだすに旅館の店主を迎えましてと  
も／＼話し合っていてあります。そしてこうした  
物ができることをもう手を上げて賛成である  
ことを私たちに対しては、きりと申してあり  
ます。また私たち自体も受け入れ体制が富



士屋さん一つではあしういけない、いくらかの  
 旅館が国民ハウス外れもつとくでまてい  
 場所ではないかと思つております。こうす  
 ることによつて業者もくるひいては館山全  
 体が良くなりはいしないか。従ひまして富士屋  
 さん、業者との左摺というのは全然ございま  
 せんことと私の知る範囲で皆様方へ申しエ  
 げておきます。いろいろ細かいこと申しエ  
 げたいこともございます。とにかく地元では  
 全面的に協力するということとを申しエ  
 げまして地元の様子をお伝えしこの問題につ  
 きまして全面的な賛成と皆様方のご支援を  
 お願いすべし一言申しエ  
 げさせて終ります。

議長(萩生田七郎君)お諮り申します。



議案オ六七号 原案通り可決することへご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(萩生田七郎君)ご異議ないかと認めます。  
よって原案通り決しました。

○議長(萩生田七郎君)次日程オ六議案オ六八号。

(書 記 朗 読)

議案オ六八号 起債について

○総務課長(船橋 君) 議案オ六八号についてご説明申し上げます。

起債金額を千五百万円、これはたい今議決を願った六七号の建築費に使用するものであります。  
借入利率でございしますが年六分五厘三年すえ



おき二十五ヶ年還付の予定でございます。以上。

○大番(松本 藤太郎君)ちよっと話しがあわないんですが  
 前の鳩山邸へ作る国民ハウスの資金の面ですが  
 厚生年金から借りるというふうにも、とったん  
 ですがこれをみますというく、簡易保険、銀行  
 となくさんありますしこれはどういうことで  
 すか。利率も一割以内なるほど一割以内には  
 違いありません。厚生年金でも償還利子は六  
 分九厘とは、きり定まっておるものでもしこ  
 れを借りるならば利率六分九厘でい、んじや  
 ないか、そういうふうにか考えるんがすばいと  
 つその実。

○市長(田村利男君)大体厚生省のほう厚生年金の  
 方で借りろということになるわけがございま



す。それでもいろいろ省のつごうによって  
郵便貯金かう借りろという指令があるかも知  
れませんが。そういうようなものをもって  
こう書いてあるわけですか。大体は厚生年  
金と資金にあてる予定でございす。

年一割と書いてありましたがこれは方法で  
本当は十分五厘に決定しておるわけがござ  
いす。

○ニ六番 鈴木市蔵君を千五百万円とあるんです  
が、この場合利子が一割と書いておるとする  
と年百五十万、五百円で作って九人一日泊  
めるとすると年百六十何万、そうすると  
利子と払うとほとんどない、どういう計算  
ですか。このあたりで答弁願いたい。



○市長（田村利男君）市といえまして基本的には建物は大体市で建てて、建物の償還にともうた金のはり入れは毎年の経営とは別にする予定でございます。たとえば例はおかしいようですが学校の教室あるいは市役所の建物、いうようなものも全部年六分五厘で、その利子と覚悟の上で経営していく。

○二大番（鈴木市藏君）おそらく別途今計になると思ふんですが、さっき市長さんのお答弁では年に四十何万もうけがある。そういうようなお答弁があつたんですが、これをみると百五十万の利子を払うとほとんどもうけがないんですね。

○市長（田村利男君）利子は六分五厘でございますの



で「六分五厘」そうすると「割」というのはと呼ぶ者  
あり」一割以内でございましてやはり議案に  
出す場合には。

○二六番（鈴木市藏君）六分五厘でや、ても赤字が  
でる。市長さんとしてはこれを覚悟ならうば  
私はあえてどうこうい、ませんけどどうい  
うんですか。

○市長（田村利男君）道路の起債にしても橋の起  
債までも港の増築の場合の起債にしても全  
部六分五厘の利息を覚悟でまた元金も覚  
悟でや、てあります。その意味におろま  
してこれも覚悟でやるように計算ができて  
おります。

○二六番（鈴木市藏君）この案には賛成ですがね、それ



ふへおちないんですよ、学校の建物とか市庁舎とか港とはこれはこと変つていると思う。

さうき質向しやうと思つたんですが関連があるかう質向してみたいと思ふんですがこのせんとそ作るについて他市あるいは他府県に対してさういふものをやつてこれに対して執行部としては研究なされたか、なされませんか、この質をちやうと伺つてみたいと思ひます。

○市長(田村利男君) 青年ハウスという向題と国民宿舎という向題と同じような性質のものだ文部省と厚生省で行われております。さうした場合におきまして厚生省で扱う場合は国民ハウスでありまして大体三年前かうかういふものができてありまして他府県においても



すでに十ぐらい設備ができております。その  
内の裏磐梯にある、宿泊の实例を一軒調べ  
て参りましたし今後通当な早い機会に助役  
あるいは私課のものに調べる予定ですが週  
末においてはまだ一例しか実は見ておらない。  
しいていえば黒潮庄鴨川のを加えて二例研  
究したわけです。

○議長(荻生田七郎君)他にご意見ございませうか。  
○二大番(鈴木市藏君)誠にそれいふんです。い  
つ調べてきたわけではなく向うの方を調べて  
きたらばそれに対して内容等を今日でなくと  
もけ、こうです。報告願いたいと思います。  
○市長(田村利男君)十分ご趣旨に承知したいと思います。  
○大番(松本藤太郎君)厚生年金の壹千五百万というも



食 山 市 議 会  
のはちりち千五百万とれたか。その時の予備としてしたと、こういうふうな理解して……。

○市長(田村男君)厚生年金とれませんでなく老千万円であとは郵便貯金から借りてくれと厚生省の指示があるわけです。

○議長(萩生田七郎君)他にご質疑ございませんか。  
(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)お諮り申し上げます。  
議案オ六八号原案通り可決することにご異議ありませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(萩生田七郎君)ご異議ないと認めます。

よって議案オ六八号は原案通り決定されました。  
以上でをもって今日の議事全部終了いたしました。



以上をもちまして本臨時会を閉会いたします。  
ごろう様でございました。

午後四時十分閉会

右会議の次第を録して、に署名す。

昭和三十四年十一月二日

館山市議会議長

同 署名議員

同

荻生 七郎

山本 昇

山本 幸三



